

令和元年度「障害学生支援専門テーマ別セミナー【ニューロダイバーシティ】」実施要項

1. テーマ

発達障害学生支援がめざすもの – 支援者視点から当事者視点へ –

2. 目的

平成 29 年 3 月に文部科学省が取りまとめた「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」では、大学等関係者の間で障害のある学生への支援に関する意識が高まる中、関係者間で各大学等の現場に個別に蓄積されてきた知見や経験を共有するためのネットワークが形成され、共通の課題も浮き彫りになってきました。また、課題解決の達成には多くの関係者の共通理解と努力が不可欠であり、そのための手法に関する調査・研究・開発・蓄積が必要と考えられると指摘されているところです。

障害のある学生への支援においては学生と教職員の立場の違いから、教職員が支援者の視点で障害理解を促し、対応方法を伝える取組が多く行われています。一方で、障害のある学生が自分自身で決定するセルフアドボカシーを重視し、社会参加するために支援者ができることを考えることが一層必要とされています。本セミナーでは、特に発達障害に焦点を当て、当事者視点での障害学生支援体制の充実・強化を目的とします。

3. 内容

発達障害のある学生においては、医学的診断名から学生にとって必要な配慮が分かりにくく、また、学生自身が周囲に障害の状況を明かしたくない場合もあり、合理的配慮の調整のみでは学生当事者から見て十分な修学環境とならない場合もあります。諸外国では当事者を中心とした社会運動として、発達障害などを障害の社会モデルの観点から捉える「ニューロダイバーシティ（脳の多様性）」という考え方が提唱されています。日本においても、発達障害当事者の考え方や物事の捉え方を取り入れ、包括的な修学環境設計に取り組む必要性が高まっています。そこで、障害の有無によらず学びやすい環境をデザインする「学びのユニバーサルデザイン（UDL）」の考え方を高等教育の現場にも波及させたいという思いから、前半に基調講演を企画しました。UDLのもとでは、柔軟な目標、方法、教材、評価の方法によって、さまざまなニーズに対応できるようなカリキュラムをデザインすることが求められており、高等教育機関での授業設計にも有益な視点が得られると期待されています。

後半は、筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター（以下、DACセンター）の教育関係共同利用拠点事業で行われている障害学生支援に関する調査・研究・開発等の成果を踏まえた話題提供とパネルディスカッションを行います。話題提供では、発達障害のある学生が大学生活での経験を活かして社会に接続するために、高等教育機関および就労支援機関の支援者から本人のニーズや特性を踏まえた支援の取組について紹介します。特に、ICT ツールを活用した最新の取組を紹介する予定です。

パネルディスカッションでは、大学生生活を経験している発達障害当事者が参画し、自身の大学生活において発達障害の特性により困難を感じた課題を参加者と共有した上で、発達障害当事者から障害学生支援に対する期待について、フロアの参加者を含めて建設的対話を行います。特に、

支援の意思表示、合理的配慮の捉え方、当事者同士のコミュニティ形成等を話題に取り上げ、当事者視点での障害学生支援のあり方について議論します。

4. 主催

独立行政法人 日本学生支援機構、国立大学法人 筑波大学

5. 開催日時

令和元年 11 月 14 日（木曜日）10 時 30 分から 16 時 30 分まで（10 時受付開始）

6. 会場

AP 日本橋

〒103-0022 東京都中央区日本橋 3 - 6 - 2 日本橋フロント 6 階

（JR「東京駅」八重洲中央口徒歩 5 分、東京メトロ銀座線「日本橋駅」B3 出口徒歩 2 分）

7. 参加対象

障害学生支援に携わる大学等の管理者及び教職員

8. 参加定員

200 名

9. 参加費

無料（参加に伴う旅費等は各所属機関にてご負担願います。）

10.プログラム

10:30 主催者挨拶 (10分)

日本学生支援機構、筑波大学

10:40 基調講演 (90分)

「学びのユニバーサルデザイン –自分の学びを舵取りする–」

講師：バーズ亀山静子（N Y州公認スクールサイコジスト）

質疑応答 (20分)

12:30 昼食休憩 (60分)

13:30 話題提供 (60分)

「学生が大学から社会に接続するために支援者にできること」

話題提供1：「本人のニーズと特性に応じた多層的な修学支援」

講師：佐々木銀河（筑波大学 DACセンター）

話題提供2：「ICT ツールを活用した発達障害学生の就労支援」

講師：窪 貴志（株式会社エンカレッジ）

質疑応答 (20分)

14:50 休憩 (15分)

15:05 パネルディスカッション (80分)

「支援とは？～発達障害当事者と支援者との建設的対話～」

パネリスト：発達障害当事者（在学生・卒業生）

村田 淳（京都大学学生総合支援センター）

窪 貴志（株式会社エンカレッジ）

ファシリテーター：佐々木銀河（筑波大学 DACセンター）

協力：大学生発達障害当事者コミュニティ BeU

※パネルディスカッションでは WEB 質問収集サービスを活用してフロアからの質問を受け付けません。

16:25 総括 (5分)

16:30 閉会

11. 申込み方法

- ① 別添資料「参加申し込み方法について」に従って、日本学生支援機構障害学生支援課のウェブサイトから申し込み画面にログインし、必要事項を入力してお申し込みください。

なお、申込み手続き完了後、30分以内に手続きの完了を知らせる自動送信メールが届きますので、必ずご確認ください。メールが届かない場合には手続きが完了していないことが考えられますので、

「13. 本件問合せ先」まで手続きの完了をご確認ください。

※申込み締切日：11月5日（火曜日）正午

【注意事項】

- ① 申込み手続きの完了をもって参加決定とします。申込み手続きの完了時に届く自動送信メールにも参加決定について明記してあります。参加者へのご案内が記載されておりますので必ずご確認ください。

- ② 情報保障（パソコン文字通訳、手話通訳、資料のテキストデータの提供等）、座席の指定、誘導を希望される方は、参加申込み時に「障害等により配慮を希望する」を選択してください。

なお、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

※情報保障を希望される方は10月15日（火曜日）までにご連絡お願いいたします。

- ③ 参加の申込みにあたってご記入いただいた個人情報は以下の目的に利用します。その他の目的には利用いたしません。

- 本セミナーの運営に際し必要な名簿等の作成
- 本セミナーの講師、業務委託先等へ、運営に必要な範囲での情報提供
- 本セミナーの実施状況を把握する資料（過年度参加状況等）の作成
- 事後アンケートなどの依頼

- ④ 本セミナー当日は、機構スタッフによる各会場の写真撮影及び録音を行いません。撮影した写真はセミナーの広報のため、また、録音内容については実施概要の参考資料として使用いたします。その他の目的には利用いたしません。

12. 本件問合せ先

独立行政法人 日本学生支援機構

学生生活部 障害学生支援課 障害学生支援計画係

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1

TEL：03-5520-6173 FAX：03-5520-6051

E-mail tokubetsushien*jasso.go.jp

※E-mail をお送りいただく場合は*を@に直してください。

令和元年度「障害学生支援専門テーマ別セミナー【ニューロダイバーシティ】」

会場案内図

日 時 : 11月14日(木曜日) 10時30分~16時30分

受付開始 : 10時00分

会 場 : AP日本橋

(〒103-0027

東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント 6階)

最寄: JR「東京駅」八重洲中央口より徒歩5分

東京メトロ銀座線「日本橋駅」より徒歩2分

